

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成28年8月4日 (2016.8.4)

【公表番号】特表2015-525158(P2015-525158A)

【公表日】平成27年9月3日 (2015.9.3)

【年通号数】公開・登録公報2015-055

【出願番号】特願2015-518376(P2015-518376)

【国際特許分類】

B 2 7 M 3/00 (2006.01)

E 0 4 F 15/04 (2006.01)

E 0 4 F 15/02 (2006.01)

B 2 7 M 3/06 (2006.01)

B 2 7 M 1/00 (2006.01)

【 F I 】

B 2 7 M 3/00 H

E 0 4 F 15/04 F

E 0 4 F 15/02 G

B 2 7 M 3/06

B 2 7 M 1/00 A

B 2 7 M 1/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月30日 (2016.5.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 枚のボードを第 1 パネル (1) 及び第 2 パネル (1 ') に分割するための方法であって、

前記ボードを移動させ、固定工具 (2 2) によって、前記ボードを分割する工程と、前記ボードの背面を通る第 1 鉛直開放溝 (1 9) と、前記ボードの表面を通るオフセットされた第 2 鉛直開放溝 (1 8) と、を形成する工程と、を備え、

前記固定工具 (2 2) は、スクレーピング工具またはカービング工具であることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記第 1 鉛直開放溝 (1 9) は、固定工具または鋸刃によって形成されることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記第 2 鉛直開放溝 (1 8) は、固定工具または鋸刃によって形成されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

固定工具 (2 2 b) によって、前記ボードの表面及び / または背面の下方に、水平に延びる第 1 水平延在溝を形成する工程を更に備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 5】

前記第 1 水平延在溝は、前記第 2 溝 (1 8) から前記第 1 溝 (1 9) に向かって延びることを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 6】

前記第 1 水平延在溝は、前記第 1 溝 (1 9) から前記第 2 溝 (1 8) に向かって延びることを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 7】

前記第 1 水平延在溝は、前記第 1 鉛直開放溝 (1 9) と前記第 2 鉛直開放溝 (1 8) とを接続することを特徴とする請求項 4 乃至 6 のいずれかに記載の方法。

【請求項 8】

固定工具 (2 2 b) によって、前記ボードの表面及び / または背面の下方に、水平に延びる第 2 水平延在溝を形成する工程を更に備え、

前記第 2 水平延在溝は、前記第 2 鉛直開放溝 (1 8) から前記第 1 鉛直開放溝 (1 9) に向かって延び、前記第 1 水平延在溝は、前記第 1 鉛直開放溝 (1 9) から前記第 2 鉛直開放溝 (1 8) に向かって延びることを特徴とする請求項 4 に記載の方法。

【請求項 9】

前記第 1 水平延在溝は、前記第 2 水平延在溝に接続されることを特徴とする請求項 8 に記載の方法。

【請求項 10】

前記第 1 鉛直開放溝 (1 9) を形成する工程は、前記第 2 鉛直開放溝 (1 8) の形成前に行われ、

前記第 1 鉛直開放溝 (1 9) は、固定工具によって作られることを特徴とする請求項 1 乃至 9 のいずれかに記載の方法。

【請求項 11】

前記ボードを、好ましくは例えばカムまたはリッジのような押圧装置が設けられた、コンベアベルト / コンベアチェーン等の運送機上に、配置する工程を更に備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 1 0 のいずれかに記載の方法。

【請求項 12】

前記ボードの前記表面を、前記運送機に当接配置して下方に向ける工程を更に備えたことを特徴とする請求項 1 1 に記載の方法。

【請求項 13】

前記固定工具 (2 2) は、異なる鉛直位置及び / または水平位置における形成のために配置された、いくつかのカービング歯を有していることを特徴とする請求項 1 乃至 1 2 のいずれかに記載の方法。

【請求項 14】

前記固定工具により生成される切屑を、好ましくは吸引装置によって回収されるのだが、圧縮空気によって、好ましくは圧縮空気ノズルによって、除去する工程を更に備えたことを特徴とする請求項 1 乃至 1 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 15】

第 1 パネル (1) 及び第 2 パネル (1') の固定のための機械的固定システムを形成する方法であって、

- ・請求項 1 乃至 1 4 のいずれかに記載の方法によって、ボードを第 1 パネル (1) 及び第 2 パネル (1') に分割し、それにより、前記第 1 パネル (1) の第 1 縁部に下方突出部を形成し前記第 2 パネル (1') の第 2 縁部に下方溝を形成する工程と、

- ・前記下方突出部において固定要素 (8) を形成する工程と、

- ・前記下方溝において固定溝 (1 4) を形成する工程と、

を備えたことを特徴とする方法。